

要請番号（JL61819B11）

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マダガスカル	A101 コミュニティ開発	20～45歳のみ	個別	交替3代目	2年	・2020/1・2020/2・2020/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

農業・畜産・水産省

2) 配属機関名（日本語）

アンバトランピ郡農業・畜産・水産支所

3) 任地（ヴァキナンカラチャ県アンバトランピ郡アンバトランピ市） JICA事務所の所在地（アンタナナリヴ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約2.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、ヴァキナンカラチャ県農業・畜産・水産局(DRAEP)の管轄下に置かれ、アンバトランピ郡を中心として、農業普及や村落開発に資する事業を実施している。同局は、2009年以降、JICA技術協力プロジェクト「コメ生産性向上・流域管理プロジェクト(PAPRIZ)」の実施機関の一つであり、2015年度からは、同プロジェクトの第2フェーズ(5年間)が始まっている。現在、同配属先の上部組織であるヴァキナンカラチャ県農業・畜産・水産局で青年海外協力隊(JV)1名が活動中である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国は、コメの消費量が1人当たり年間120kg(日本の2倍)、生産量は毎年300万トン前後である。同県は、全国有数のコメ生産地であり、生産量をさらに増加できるポテンシャルがあるが、稲作技術の近代化が遅れているため、生産量の増加が伸び悩んでいる。そんな状況下、2009年から同県において始まったPAPRIZプロジェクトにおいて、コメの生産性向上を目指して作成された稲作技術パッケージを農民たちに普及すると共に、農民たちの収入向上を目指している。以前、ヴァキナンカラチャ県農業・畜産・水産局で活動しているコミュニティ開発JVが、アンバトランピ郡の稲作技術普及支援や農民の生活改善に携わっていたが、同地域はさらに農民や地域住民に密着して活動することで活動成果が向上することを期待しており、現在派遣中のJVより郡レベルに派遣することとした。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先関係者と協力し、対象地域を巡回しながら、以下の業務を行う。

1.地域農民のニーズを探り、その課題解決に対する支援を行う。

(例:農閑期を活用した、栄養改善、改良カマド、住居改善、家計研修等)。

2.生活改善グループに対し、活動の活性化支援や問題解決に向けた支援を行う。

3.農民のニーズに応じ、PAPRIZプロジェクトが作成した技術パッケージを用いて、稲作技術の普及や支援や、農民が配属先やプロジェクト関係者と情報交換ができるようにサポートする。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

JICAプロジェクトが作成した稲作技術パッケージ、生活改善資料(マダガスカル語)一式

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:配属先長(女性、30代)

農業担当職員(男性、30代)

活動対象者:地域住民(約400名。20～50代の女性が多い。)

5) 活動使用言語

マダガスカル語

6) 生活使用言語

マダガスカル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

・イベントやワークショップ企画・実施の経験

任地での乗物利用の必要性

自転車

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（1～30℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】

活動地域が村落部のため、地域に溶け込み村人とコミュニケーションを取ることを好む人が望ましい。